



バナナ (ハワイ名 マイア)

これを見ると、バナナは野菜の仲間だとわかるか? カタチは違いますが、まるでキャベツのように表面がめくれず。すぐ隣には子どものバナナが…。



パンノキ (ハワイ名 ウル)

もともと無人島だったハワイ。パンノキはその昔、ポリネシア人が移住する際に運んできた植物で、実は蒸して食べられます。年間600個以上もの実ができるので、これさえあれば食べ物には困らないとか。ハワイでは子どもが生まれると同時に植えますが、これには「子どもが一生食べていけるように」との願いが込められています。ただし、実はあまり美味しくないようです。



タコノキ (ハワイ名 ハラ)

男性の木、女性の木が分かれている、珍しい植物。夫婦が寄り添うように立っていて、向かって左の実をつけているのが女性、右側の白い花を咲かせているのが男性です。葉っぱはトゲを外し、なめしてからカーペットや壁、屋根に使われます。
※写真はマダガスカル産のタコノキです。



斑入りバナナ

バナナの最高峰と言えば、この斑入りバナナ。王族だけが食べられるバナナです。



サプライズ! イランイランの香り

ガイドさんが手渡してくれたのは、イランイランの葉っぱ。両手の平に挟んでもむと、たちまちいい香りがふわり。有名な香水「シャネルの5番」の原料だそうです。ただし、ハワイとは特に関係がありません。
※ツアー参加者へのサプライズサービスのため、サービスの有無、内容は時期によって異なります。



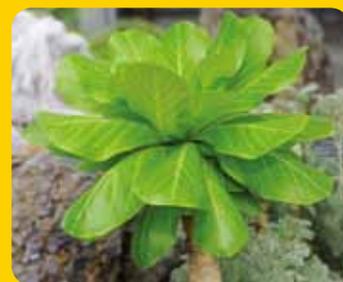
ヒビスカスアーノティアヌス (ハワイ名 コキオカケオ)

ハワイ原産のハイビスカス。絶滅危惧種に指定されていて、ハワイに行ってもなかなか見ることができない貴重なもの。ハワイアン系と呼ばれるハイビスカスの交配種としても有名です。現地では数が減り絶滅が危惧されています。



ギンケンソウ (ハワイ名 アヒナヒナ)

標高3000メートルの高地に生きる高山植物で、これも絶滅危惧種です。ハワイではまるで白髪のように見えることから、この植物には知識が詰まっているとされています。またシルバーなのは、太陽に近い高地でも日焼けしないため。低地に育つギンケンソウの仲間は、緑色をしています。



ブラミア・インシグニス (ハワイ名 アルラ)

ハワイでもカウアイ島の崖にしか育たない植物。棒の上にキャベツが乗ったような容姿から、英語ではキャベツオンスティックと呼ばれています。

○毎月第2土曜日 10:30~13:30~
○所要時間 約45分
○参加費 無料(別途入館料)
○定員 各回10名(先着順/当日出発30分前より館内案内所で受付)
※イベント時には休止する場合があります。
※予定が変更になる場合もございます。
事前に06-6912-0055までお問合せください。
ハワイフラワーツアーの内容は、開花状況や季節、お客様の層によっても変更しています。本誌で紹介した限りではありませんのでご了承ください。

特集 真冬にポカポカ、咲くやこの花館で“ALOHA”

スタート



アロ~ハ! (こんにちは!)
名物ガイドさんに誘われ、気分は一気にハワイへ。

名物ガイドからひと言

ハワイの魅力は「山」にあり!

ハワイと言えばマリンレジャーやショッピングですが、じつは「山」にも魅力がいっぱい。可愛らしくてユニークな植物の宝庫です。とくに雨上りはチャンスタイム! 湧き立つような花の香りに包まれながら、青空にかかる美しい虹をお楽しみください。

名物ガイドからひと言

まず一度、お越しください!

ツアーの後、「あ〜、楽しかった」も嬉しいですが、「また来よう!」はもっと嬉しい。誌面をご覧の方には、まず一度、実際にお越しいただきたいと思っています。私はもちろん植物たちも、皆さんに会える日を楽しみにしています。

ゴール



名物ガイドさんと愛情いっぱいハグをして、ツアーは終了です。では、ア・フイ・ホウ!(また会いましょう!)

パスポート無用の海外旅行、

ハワイフラワーツアー!

ああ、ハワイでのんびりしたいなあ〜。寒さ厳しいこの頃、こうしたセリフをつぶやいていませんか?
そんなアナタにオススメしたいのが、咲くやこの花館の“ハワイフラワーツアー”。陽光に満ちた館内は明るく、真冬もポカポカな陽気。色とりどりのキレイな花、ユニークなカタチの実、ハワイでも観られない(!?) 貴重な植物も…。明るく元気な名物ガイドさんの笑顔に誘われて、パスポートのいらないハワイ旅行へ、さあ出発です!